

中学部の生徒の様子



- 汚れ等の状況に応じて、自分から考えて掃除をした経験は少ない。
- 言葉で考えや根拠を説明できる生徒だけが意見を述べ、活動してしまいがちになる。
- 他の生徒は、見たり聞いたりして活動していることが多い。
- 学校での掃除経験はあるものの、家庭で掃除をする機会は少ない。

育成を目指す資質・能力

学びに向かう力・人間性等

のびのびした姿

学んだことを生活や学習に生かそうとする態度

知識・技能

日常生活に関すること
家事・手伝い

思考力・判断力・表現力等

課題を解決する力
課題を見いだし解決する力

題材の目標

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	関心・意欲・態度
様々な掃除道具や掃除方法を知ることができる。	掃除での様々な課題に気づき、友だちの意見等の情報を活用して考えたり、判断したりして自らチャレンジすることができる。	本題材で学んだ知識や技能、自ら考えて工夫したことなどを学校や家庭生活で活かすことができる。

ALの視点に立った授業づくりの工夫

経過と結果

主体的な学び

[A]具体物や半具体物

「ピカピカ☆GOカード」
「振り返りカード」



[B]活動の意識付け

掃除が必要な状況を生徒の目の前で作り出す

[C]一人で考える時間の設定

一人で考える時間：「シンキングタイム」
実践する時間：「チャレンジタイム」



[A]名称と使い方、3つの視点で道具について整理

→「マット（場所）」「ベタベタ（特徴）」の意識
→カードをもとに発言や説明

[B]「きれいにしなくちゃ」（興味をもってその状況を捉える）
→状況を見ながら「どうすればいいか」を考えるように

[C]考え方、答え方がわからない様子で、意見が少ない
→「雑巾は汚いから」等の理由づけ

対話的な学び

[D]話し合いのステップ

一人で考える場面と他の生徒と考える場面を明確に設定



[E]学び合いのメソッド

発表の順番と発問の工夫

[D]少人数での話し合いを追加

→集中しやすく、他の生徒の考えを見るように
→自分の考えと比較した発言の増加

[E]他の生徒の様子を見て、使用する道具とその特徴に気づく
例）「松葉掻き」や「座敷簀」の様子→「竹箒」が集めやすい
「雑巾」で机を拭く様子→「それは下（床）なんだよ」

深い学び

[F]ちょっとした未知の状況を作る

前回までの学習内容を活かして比較、選択、実践

[G]言葉にかえる

生徒の発言や行動を教師が整理
「道具の特徴」「使用する場所」「汚れの様子」



[H]振り返りカード

家庭に持ち帰り、連携のツールに

[F]前回までに学習した道具をもとに比較
カードを参考に考える姿も見られた

[G]名称と使い方+3つの視点で整理
→その後の時間にも活用可能に

[H]「おうちでやってみようかな～」という発言
→実際に家庭で掃除をしたと報告



考察



家庭での役割として、床拭きや
台拭きに進んで取り組んだ！

学びに向かう力・人間性等

自分なりの言葉や身振りなどで
自分の考えを伝えようとする

思考力・判断力・表現力等



日頃の掃除場面から掃除道具
の使い分けの意識

知識・技能



主体的な学び

自らの考えを
深めやすい状況

・思考の助け
・学び方の習得

深い学び

伝え合うための
言葉の整理

ALの視点に
立った
授業



対話的な学び